

# 関東



関東の景況は、公共工事が足許減少したものの、個人消費、輸出が持ち直すなど、回復。

個人消費は、大型小売店販売が増加し、コンビニエンスストア販売も増加、乗用車販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、貸家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、都県が増加したものの、独立行政法人等、市町村が減少するなど、足許減少。輸出は、鉄鋼、医薬品、半導体等製造装置が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、食料品、化学が減少したものの、石油製品、電子部品・デバイスが増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、宿泊施設の客室稼働率が高水準を維持するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、製造業や医療・福祉を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇、現金給与総額も増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢